

やしている。保育園の待機児童解消は市が責任を果たすべき。新学校給食センター建設は大企業の儲けを狙うPFIでの推進は問題。大規模事業は市民への過度な負担がないように見極めを。市長が市民の声を聞いているが、政策に反映する仕組みはない。政策決定のための客観的な仕組みが必要。

議案第76号

反対

【日本共産党】

平成27年度からの第5期に保険料基準額1080円の大幅値上げがされ、平成27年度末の基金は27億円まで積み立てられた。苦しい生活実態の中で、激しい生活実態の中で、市民生活に大きな負担となった。今回、さらに基金積立金に5億7千万円を回すのではなく、取り過ぎた保険料は返すべきもの。介護職員の処遇改善などの施策も検討すべき。もっと市民一人ひとりの生活実態に寄り添い、耳を傾けるべき。給付に比べ保険料が高く、相当の保険料に引き下げる必要がある。

議案第71号

反対

【政晴会】

基準単価の適用は任意であり、多くの自治体で独自の単価設定をしており、本市でも平成13年から20年まで改正されなかった例もある。また、改正しないことが直ちに「お金のかからない選挙と候補者間の選挙運動の機会均等を図る」という選挙公営制度の趣旨に反しないこと、近年の川越市議会議員選挙での公費負担状況や昨今の社会情勢等に鑑みても、特段の

議論を行わずに上程されたことは極めて不適切である。

市政に関する一般質問

今定例会では、26名の議員が一般質問を行いました。

会派名 議員氏名
質問の番
一般質問の表題

問 答
問 答
問 答

会議録の閲覧
【閲覧場所】
図書館／市民センター／議会事務局／情報公開窓口（東庁舎）

無所属 小林 薫 1
問 柳瀬川にはアユが遡上してきているが、新河岸川の浄化対策として今後アユのすめる川にはできないか。

【答 環境部長 新河岸川は、充分アユがすめる水質であると思われる。しかし、定着するためには、川底が石となっている環境等が必要であり、土の川底へ人工的に石を入れる大規模な工事が必要であり、

【問 新河岸川浄化対策】
【答 市長の政治姿勢】

やまびき会 小高 浩行 2
ボランティアの重要性

問 在宅高齢者の日常生活支援や地域包括ケアシステム構築及び子育て支援などを進める上でのボランティアの重要性に対する市の認識を伺いたい。

答 識をさらに高めていく取り組みと、地域活動への参加を促進する工夫を講じていくことが、在宅高齢者の日常生活支援等の一翼を担うと認識しており、地域の生活課題を市民が共有し支援活動につなげていくためには、ボランティアの役割は大変重要と受け止めている。

【問 地域コミュニティ推進】
【問 外国語（英語）教育】

自由民主党 吉敷 賢一郎 3
問 将来を見据えた立地適正化計画のまちづくりを進める上で、地域核でもある南古谷駅周辺の今後の土地利用を市はどのように考えるのか？

【答 都市計画部長 立地適正化計画の都市機能誘導区域の位置付けには、駅半径800メートル圏内の市街化調整区域を含めない形で検討している。

【問 水害時の避難所】
【問 地域核と南古谷】

